

「ジョーカー」

「人生はピクナース」

「ムーンライト」「ミッドサマー」

ホアキン・フェニックス主演 × マイク・ミルズ監督 × A24製作  
アカデミー賞<sup>®</sup>常連チームが贈る最高に愛おしい物語

# C'MON C'MON

カモンカモン

君の話を聞かせて



配給・宣伝：ハビネットファントム・スタジオ [happinet-phantom.com/cmoncmon/](http://happinet-phantom.com/cmoncmon/)

A24 presents a BE FUNNY WHEN YOU CAN production "C'MON C'MON" JOAQUIN PHOENIX GABY HOFFMANN SPIDY NICHOBY MOLLY WEBSTER JADELUKE YOUNG-WHITE AND WOODY NORMAN  
CASTING BY MARK BENNETT JENNIFER VERBITTI ORIGINAL SCORE BY BRUCE DESSENER ANTON DESSENER COSTUME DESIGNER KATINA DAMAGASSAS EDITOR JENNIFER VECCHIARELLO PRODUCTION DESIGNER KATIE BYRTON DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ROBBIE BRYAN  
CO-PRODUCERS JOEL HENRY RACHEL JENSEN GEOFF LOUVILLE PRODUCED BY CHELSEA BAUMHARD, M.P.A. LILA VACCINO, M.P.A. AND ANDREA LONGACCHI-WHITE, M.P.A. WRITER AND DIRECTOR MIKE MILLS

突然始まった甥っ子との共同生活。  
戸惑いと衝突、想定外から生まれた奇跡の日々。

A24

圧倒的な多幸感!★★★★★ハリウッド・リポーター誌  
心揺さぶられる★★★★★ヴァラエティ誌

ナショナル・ボード・  
オブ・レビュー  
インディペンデント  
映画ベスト10

ローマ国際映画祭  
観客賞受賞

ゴッサム賞  
2部門ノミネート  
(主演俳優賞・助演俳優賞)

インディペンデント・  
スピリット賞  
3部門ノミネート  
(作品賞・監督賞・脚本賞)

タイム誌  
2021年トップ10  
選出

ヴァニティ・フェア誌  
2021年トップ10  
選出

ニューヨークカー誌  
2021年ベスト35  
選出

ニューヨーク  
タイムズ紙  
ベストパフォーマンス  
選出

世界が絶賛!



C'MON  
C'MON



監督・脚本:マイク・ミルズ『人生はピギナーズ』『20世紀ury・ウーマン』  
出演:ホアキン・フェニックス、ウディ・ノーマン、ギャビー・ホフマン、モリー・ウェブスター、  
ジャッキー・ヤング=ホワイト 音楽:アーロン・デスナー、ブライス・デスナー(ザ・ナショナル)  
配給・宣伝:ハビネットファントム・スタジオ ©2021 Be Funny When You Can LLC. All Rights Reserved.  
2021年/アメリカ/108分/ビスタ/5.1ch/モノクロ/原題:C'MON C'MON/日本語字幕:松浦美奈

[happinet-phantom.com/cmoncmon/](http://happinet-phantom.com/cmoncmon/)  
📺📷📱 @cmoncmonmoviejp

## ずっと忘れない、2人で過ごした愛おしい毎日

NYを拠点にアメリカを飛び回るラジオジャーナリストのジョニーは、LAに住む妹が家を留守にする数日間、9歳の甥・ジェシーの面倒を見ることに。それは彼にとって、子育ての厳しさを味わうと同時に、驚きに満ち溢れたかけがえのない体験となる。ぶつかりながらも、歩み寄ろうとする2人の想定外の日々が、愛おしさ変わるまでを描く感動のドラマ。

## ホアキン・フェニックスが『ジョーカー』の次に選んだ心温まる物語

『ジョーカー』でアカデミー賞®主演男優賞を受賞したホアキン・フェニックスが、次なる出演作に選んだのは、狂気のイメージを覆すこんなにも優しい物語だった。新星ウディ・ノーマンとの親密な掛け合いも微笑ましい。監督・脚本は、自身の子供をお風呂に入れている時に着想を得たと語るマイク・ミルズ。劇中には、ジョニーによるインタビューというドキュメンタリーシーンを通じて、実際に取材した9~14歳の子供たちの“生の声”が挿入されている。自分たちが住む街や現在の生活、そして未来について率直に語る彼らの言葉は、「今、現実社会で起こっていること」を生々しくもバワフルに伝え、「すべての大人は子供と彼らの未来に責任がある」という強いメッセージを発している。また、『女王陛下のお気に入り』でアカデミー賞®候補となった撮影監督ロビー・ライアンが手掛けるモノクロの映像美、人気ロックバンド、ザ・ナショナルのアーロン・デスナーとブライス・デスナーが担当するサウンドトラックも見逃せない。

4/22 (Fri) ROADSHOW